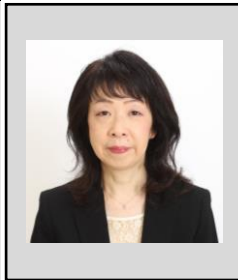
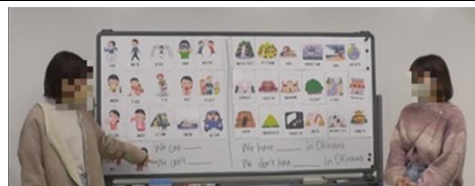
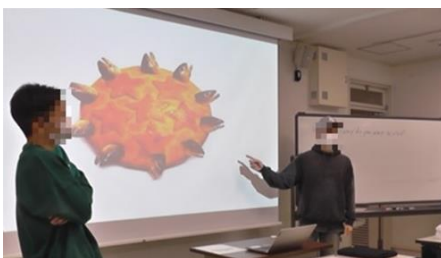


教員についての基本情報

教員名	津田 敦子 (TSUDA Atsuko)	
担当教科と分野	英語教育、小学校英語	
研究分野	英語教育、英語学習における自己調整学習、動機づけ、学習方略、小学校英語、Teacher Agency、ICT を活用した英語授業	
担当授業	初等外国語教育法、外国語、小学校外国語活動Ⅰ・Ⅱ、教職体験Ⅱ、小学校教育フィールドワーク、体験子供の世界・学びの世界、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、TOEIC 演習、TOEFL 演習 他	
授業についての一言	理論と実践の往還を大切にしています。2年次に「初等外国語教育法」で「外国語の指導法」を、「外国語」で「外国語に関する専門的事項」を履修したのち、3年次に「小学校外国語活動Ⅰ・Ⅱ」で、課題解決型単元づくり・授業観察と分析・模擬授業といったより実践的発展的な内容に取り組みます。	

「小学校外国語活動Ⅱ」での学生による模擬授業の様子

☆モットーは、授業者が外国語の授業づくりを楽しむこと☆



研究の内容

主たる研究内容は、英語学習における自己調整学習で、いかに自己調整学習を促進し、学習者の主体性を引き出せるかを研究しています。学習者が英語力を身につけていくためには教室外さらには卒業後も自律的に学習していくことが必要です。その育成過程や取組を具現化しているのが、メタ認知・動機付け・学習方略を包括した自己調整学習です。現在は、小学校教員を目指している学生が、どうすれば小学校で英語を教えることに対する不安を軽減させ、自己効力感を高めていくのか、ひいてはTeacher Agency を獲得していくのかを調査しながら、授業改善の試行錯誤をしています。また、小学校英語におけるICTを活用した自己調整学習を促進する課題解決型単元の開発にも取り組んでいます。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

- ・小学校外国語における動機づけを意識した授業デザインの研究 —英語嫌いにしない授業づくりを目指して—
- ・小学校英語において「主体的・対話的で深い学び」を促す授業の考察 —ゲーム活動からコミュニケーション活動へ—
- ・小学校英語教育におけるソフト・クリルの提案

研究室の様子

ゼミで作った教材用のブンブンゴマ →



3年次は文献の購読をしながら、各自の興味に沿った卒論の研究テーマを絞っていきます。絞り込んだ研究テーマとなる理論の理解を深めつつ、4年次の前期に2か月程度近隣の公立小学校の外国語・外国語活動の授業を見学させていただき、研究テーマの理論に基づいて授業分析を行います。その後教員になった際に実践できるような自分のオリジナル授業プランを練り上げます。卒論も教員採用試験の勉強も、「楽しむことが大切」をモットーに、ゼミ生で励まし合い助け合いながら、和気あいあいと進めています。